



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 名
 コード番号 6564 URL http://www.midac.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢板橋 一志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-471-9283
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,074	—	652	—	632	—	356	—
29年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 356百万円 (-%) 29年3月期第3四半期 -1百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	115.60	115.22
29年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成29年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年3月期第3四半期の数値および平成30年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、平成29年7月31日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を計算しております。
3. 当社は、平成29年12月22日付で名古屋証券取引所市場第二部に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,766	1,965	25.3
29年3月期	7,781	1,427	18.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,965百万円 29年3月期 1,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6,000.00	6,000.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、平成29年7月31日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますので、平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,119	7.5	803	35.9	773	30.9	407	41.8	129.86

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、平成29年7月31日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 平成30年3月期（予想）の1株当たり当期純利益は公募株式数（182,000株）及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資分（49,800株）を含めた予定期中平均株式数により算定しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,258,500株	29年3月期	3,076,500株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,083,780株	29年3月期3Q	－株

（注）1. 当社は、平成29年3月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

2. 当社は、平成29年7月31日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による継続的な景気対策により、企業収益や雇用環境の改善が進むなか、個人消費や設備投資の持ち直しが見られるなど、緩やかな景気回復が続きました。

また、当社の主要顧客である製造業から排出される廃棄物におきましても安定的に推移しました。

このような状況において、当社は、引き続き自社処理施設の稼働率向上並びに利益確保に向け、営業部門と事業部門と連携し、受注強化に努めてまいりました。当社の連結子会社で最終処分場を有する(株)ミダックはまなにおきましては、当社と連携し廃棄物の受入強化を図るべく販路拡大並びに広域営業を展開した結果、第3四半期に入り売上高は大幅に増加しました。また、グループ内で排出される廃棄物に関しては、同社でこれを内製化するなど、廃棄物一貫処理体制のもと、利益向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,074百万円、営業利益は652百万円、経常利益は632百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は356百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

子会社の(株)ミダックはまなの受託量が増加したことに加え、(株)ミダックにおける焼却及び破砕の中間処理が好調に推移し、売上高は2,429百万円となり、セグメント利益は792百万円となりました。

② 収集運搬事業

産業廃棄物の受託量が安定的に推移し、売上高は517百万円となり、セグメント利益は107百万円となりました。

③ 仲介管理事業

スポット案件の受注が好調に推移し、売上高は127百万円となり、セグメント利益は82百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ247百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加額250百万円等によるものであります。また、固定資産は5,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円減少しました。これは主に、のれんの減少額187百万円、最終処分場(純額)の減少額50百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少額31百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、7,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しました。これは主に、減少要因として未払法人税等の減少額164百万円、増加要因として短期借入金の増加額100百万円等によるものであります。また、固定負債は3,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ465百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額397百万円、社債の減少額58百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、5,801百万円となり、前連結会計年度末に比べ552百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,965百万円となり、前連結会計年度末に比べ537百万円増加しました。これは、新株式発行による資本金の増加額108百万円、資本剰余金の増加額108百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益356百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額319百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年2月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表の通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,475,504	1,725,570
受取手形及び売掛金	420,217	486,662
たな卸資産	52,400	54,219
その他	279,559	209,796
貸倒引当金	△634	△2,169
流動資産合計	2,227,046	2,474,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	477,783	470,991
機械装置及び運搬具(純額)	491,979	460,014
最終処分場(純額)	800,269	749,837
土地	787,386	787,386
その他(純額)	167,998	232,270
有形固定資産合計	2,725,417	2,700,500
無形固定資産		
のれん	2,149,508	1,961,689
施設設置権	360,900	330,825
その他	79,274	68,600
無形固定資産合計	2,589,683	2,361,114
投資その他の資産		
その他	247,130	237,279
貸倒引当金	△7,457	△6,557
投資その他の資産合計	239,672	230,722
固定資産合計	5,554,773	5,292,337
資産合計	7,781,820	7,766,417

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,885	47,281
短期借入金	630,000	730,000
1年内償還予定の社債	110,000	106,000
1年内返済予定の長期借入金	668,624	699,833
未払法人税等	245,763	81,762
賞与引当金	46,534	26,008
その他	379,176	361,623
流動負債合計	2,139,983	2,052,509
固定負債		
社債	245,000	187,000
長期借入金	3,281,899	2,884,221
最終処分場維持管理引当金	471,469	480,062
資産除去債務	99,771	101,373
その他	115,787	96,107
固定負債合計	4,213,927	3,748,763
負債合計	6,353,911	5,801,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,640	382,476
資本剰余金	511,447	620,283
利益剰余金	642,821	962,384
株主資本合計	1,427,909	1,965,144
純資産合計	1,427,909	1,965,144
負債純資産合計	7,781,820	7,766,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,074,886
売上原価	1,524,806
売上総利益	1,550,080
販売費及び一般管理費	897,747
営業利益	652,332
営業外収益	
受取利息	128
固定資産売却益	13,778
物品売却益	3,160
その他	3,392
営業外収益合計	20,459
営業外費用	
支払利息	33,839
その他	6,576
営業外費用合計	40,416
経常利益	632,376
税金等調整前四半期純利益	632,376
法人税等	275,895
四半期純利益	356,481
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,481

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	356,481
四半期包括利益	356,481
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	356,481

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月22日に名古屋証券取引所市場第二部に上場しました。上場にあたり、平成29年12月21日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式発行182,000株により資本金及び資本準備金がそれぞれ108,836千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が382,476千円、資本剰余金が620,283千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,429,603	517,923	127,359	3,074,886	—	3,074,886
セグメント間の内部売上 高又は振替高	136,091	120	70,568	206,780	△206,780	—
計	2,565,695	518,043	197,927	3,281,667	△206,780	3,074,886
セグメント利益	792,323	107,910	82,983	983,218	△330,885	652,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△330,885千円は、セグメント間取引消去20,048千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△350,933千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。